

日本映像学会

# 第4回映像アーカイブ研究会

日本映像学会第4回映像アーカイブ研究会では、上海国際映画祭プログラマーで映画ジャーナリストの徐昊辰氏をゲストにお招きし、デジタルリマスターという観点から、中国の映画祭における旧作映画上映の最新事情や、中国国立アーカイブの最新動向を中心に、中国クラシック映画の“今後”についてレクチャーしていただき、参加者全員でディスカッションします。

## 保存から文化交流へ 映画祭とデジタル映画アーカイブの未来

日時：2024年1月20日 [土] 14:00-16:00

参加方法：右下 QR コードまたは <https://x.gd/OziLJ> より予約フォームにご登録ください。ご登録いただいたメールアドレス宛に Zoom ミーティングの URL をお送りいたします。

問合せ先：wadamarciano.mitsuyo.6w [at] kyoto-u.ac.jp

(代表 ミツヨ・ワダ・マルシアーノ)

主催：日本映像学会映像アーカイブ研究会



### 徐昊辰氏

上海国際映画祭プログラマー、映画ジャーナリスト

1988年中国・上海生まれ、2007年来日、立命館大学卒業。

2008年から中国の映画専門誌「看电影」「電影世界」、ポータルサイト SINA、SOHUなどで、日本映画の批評と産業分析を続々発表。2016年から北京電影学院に論文「ゼロ年代の日本映画～平穏な変革」などを不定期発表。中国最大のSNS、微博（ウェイボー）のフォロワー数は約270万人。WEB番組「活弁シネマ倶楽部」の企画・プロデューサー。映画.com コラム「どうなってるの？中国映画市場」連載中。2020年から上海国際映画祭・プログラマーに就任、日本映画の選考を担当。



予約フォーム